

様式第2号（第9条関係）

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回ふじみ野市社会教育委員会議			
開催日時	令和6年7月1日（月） 開会時刻 午後3時00分 閉会時刻 午後5時00分			
開催場所	ふじみ野市役所 第2庁舎 3階 B301会議室			
出席した者の 氏名 （委員15人 中12人出席）	役職名	氏名	役職名	氏名
	議 長	齊 藤 宏	委 員	小 澤 真 樹
	副議長	中 窪 由香理	教育長	朝 倉 孝
	委 員	千 葉 信	教育部長	山 中 昇
	委 員	石 川 健 一	文化・スポーツ振興課長	吉 村 敏 世
	委 員	今 井 志 子	上福岡西公民館長	内 田 徳 子
	委 員	江 科	上福岡歴史民俗資料館長	井 上 樹 朗
	委 員	関 口 正 人	社会教育課文化財 保護係（専任主査）	高 崎 直 成
	委 員	前 谷 正 弘	事務局（課長）	木 村 裕 之
	委 員	長谷川 節 子	事務局（副課長）	小 林 久 美
	委 員	大 久 保 昭 男	事務局（主事）	近 藤 彩 香
	委 員	岩 舘 豊		
会議の議題	1 委嘱式 2 議長、副議長の選出 3 諮問「市民とともに作る社会教育事業のあり方」 4 審議事項 （1）関係団体・委員等の委員の選出について （2）社会教育関係団体の補助金審査について （3）令和6年度社会教育関連事業計画について （4）新資料館改修スケジュール及び設計概要について 5 報告事項 （1）上福岡西公民館改修工事について 6 その他 （1）令和6年度社会教育委員の年間活動計画について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	1人			

発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり	
会議資料	別添のとおり	
事務局	教育部 社会教育課	
議事の確定	確定年月日	令和6年8月8日
	記名押印	役職名 議長 齊藤 宏 印

別紙

発言者	発言の要旨
木村課長	開会の挨拶（委嘱式） 傍聴者 1 名の報告
	委嘱状交付
教育長	朝倉教育長挨拶
各委員	委員自己紹介（資料 1「社会教育委員名簿」順）
事務局及び 出席職員	事務局自己紹介
教育長	議長及び副議長の選出について →立候補者無し
石川委員	齊藤委員を議長へ推薦 →全委員承認 中窪委員を副議長へ推薦 →全各委員承認
齊藤委員	議長を受諾 議長就任の挨拶
中窪委員	副議長を受諾 副議長就任の挨拶
木村課長	議事進行
教育長	諮問「市民とともに作る社会教育事業のあり方」
木村課長	諮問の詳細について 7月22日に予定している第2回社会教育委員会会議において詳細については説明させていただく。 〈教育長・教育部長 退席〉
木村課長	開会の挨拶（会議） 出席者 12 名、欠席者 3 名で会議成立の報告 説明員の関係により、議事の順序を入れ替え、先に報告事項（1）について説明をさせていただく。

齊藤議長	議事進行
事務局 (近藤)	配布資料の確認
齊藤議長	議事進行
事務局 (小林)	議事2 報告事項(1)「上福岡西公民館改修工事について」 ・令和6年1月開催の令和5年度第5回社会教育委員会議において、上福岡西公民館については文化施設として整備する方針となったことについて報告させていただいた。 ・その後、3月市議会定例会において、公民館条例を廃止する条例を上程し、公布の日から起算して1年6月を超えない範囲において教育委員会規則で定める日から施行することが議決され、市として正式に公民館の廃止と文化施設として整備を進める方向が決定された。 ・このことを受け、令和6年度は大規模改修工事設計業務、令和7年秋から工事に着手し、令和9年度にリニューアルオープンというスケジュールになっている。 ・関係者へのヒアリング等については、文化・スポーツ振興課を中心に7月～8月にかけて実施する予定。 ・整備の方向性としては、上福岡西公民館には図書館分室もあるため、ステラ・ウェストと同様に、図書室だけを閉じた空間にするのではなく、館内のどこにでも本を持って行けるような方向で整備を進めたいと考えている。 ・これ以降の詳細な説明については、文化・スポーツ振興課の吉村課長より説明させていただきます。
吉村課長	当日配布資料「上福岡西公民館の整備のあり方」に基づき説明 ・方向性として、令和元年度策定の「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」では、上福岡西公民館は、「計画的な修繕を行う」とし、大きな改修を行うことは定めていなかった。 ・令和5年度、施設の老朽化に伴い、文化施設として大規模改修工事を実施することを決定し、文化・スポーツ振興課において実施することとなった。 ・具体的には、上福岡公民館と同様、骨組みだけ残し、それ以外は全てリニューアルする。令和6年度に設計業務、令和7年10月より大規模改修工事を予定。 ・基本コンセプトとして、ステラ・イースト、ステラ・ウェスト同様に、市内全域から訪れた人々が「行ってみたら楽しかった、また行きたい」と思うような明るい施設づくりを進める。 ・工事スケジュールについては、令和7年の10月から着手し、令和9年7月のリニューアルオープンを予定。 ・諸室の規模感については、維持していく方針。先日の上福岡西公民館利用者懇談

	会において、細かい要望はお預かりしている。その他、公民館運営審議会、図書館協議会においても説明をさせていただいている。市が一方的に決定するのではなく、対面や書面で利用団体とキャッチボールしていきながら、必要なもの、必要でないものなど確認していきながら設計を進めていく。
内田館長	・ 6月24日の図書館協議会、6月27日の公民館運営審議会、6月28日の上福岡西公民館利用者懇談会において、事務局だけでなく、文化・スポーツ振興課や設計事業者も同席し、細やかな意見の収集を開始している。今の上福岡西公民館にある機能、ない機能について、様々なジャンルの利用団体に意見を伺っていきたい。また、社会教育委員の皆さまからも活発なご意見をいただきたい。
吉村課長	本日は他の議事が多く時間があまりとれないとの見込から、設計に反映すべき事項・ご意見については、資料最終ページの書式でいただくか、次回以降の会議の中で場を設けていただき、設計業者も含めて意見を伺いたい。
齊藤議長	次回会議で時間を設けることは可能か。
事務局 (小林)	次回会議において時間を設け、改めて委員の皆さまの意見を伺わせていただく。
齊藤議長	意見については、次回に持ち越したいと思うが、本日の説明について質問があればお願いしたい。 →質疑なし
内田館長	休館中の代替施設として、西小学校の空き教室を利用し、市民の皆さまが利用できるスペースを設けられるよう、学校側とも調整を行っている。利用者が自らのサークル活動だけではなく、西小学校の児童と関わることで、地域学校協働活動の一端になるような活動に使うことができるのではないかと考えているので、その点も含め、次回ご意見をいただきたい。 〈吉村課長 退席〉
齊藤議長	議事進行
事務局 (近藤)	議事1 審議事項(1)「関係団体・委員会等の委員の選出について」 資料2「社会教育委員 各委員の選出について」に基づき説明。 各団体の総会、会議等の関係もあり、事務局案を提案させていただいてもよろしいか。
各委員	全員了承

事務局 (近藤)	事務局案説明 ○入間地区社会教育協議会社会教育委員部会委員（２名）…石川委員・小澤委員 ○入間地区人権教育推進協議会委員（１名）…中窪委員 ○ふじみ野市人権教育推進協議会役員（２名）…中窪委員・山口委員 ○ふじみ野市平和推進事業実行委員会委員（１名）…今井委員 ○ふじみ野市教育振興基本計画策定委員会委員（１名）…大久保委員
各委員	全員了承
齊藤議長	事務局提案のとおりで承認 議事進行
木村課長	審議事項（２）「社会教育関係団体の補助金審査について」 資料３に基づき説明。 ・「ふじみ野市ＰＴＡ連合会」 …令和６年度事業計画及び令和５年度事業報告の説明 ・「ふじみ野市文化団体連合会」 …令和３年度中に解散し、現在補助対象となる団体は無し
齊藤議長	質疑応答 →質疑なし
齊藤議長	「ふじみ野市ＰＴＡ連合会補助金」については、承認でよろしいか。
各委員	全員承認
齊藤議長	議事進行
木村課長	審議事項（３）「令和６年度社会教育関連事業計画について」 資料４に基づき説明。
齊藤議長	質疑応答
千葉委員	・Ｐ１７【課題】の中に、「学校への文化財展示室の設置等、保存している資料の有効な利活用」とあるが、具体的な解決案があればお聞かせ願いたい。 ・上福岡歴史民俗資料館友の会では、はたおり部会と古文書部会が活動している。上福岡歴史民俗資料館が利用できなくなった後は、古文書部会は予算を組みステラ・イーストで活動を行う予定だが、はたおり部会は福岡小学校の空き教室を放課後子ども教室と兼用で使用するという話になっていた。子どもが使う部屋で機

	織り機を片付けながら使用するというのは何とかならないかという声が上がっている。 ・そこで、学校の文化財展示室を活動場所として使用させていただくことはできないか、ご検討をいただきたいと思う。駒西小には展示室ができており、展示に使用していない時に使わせていただくことで、地域の方も活動を見ることができるようになるのではないかな。
高崎専任主査	上福岡歴史民俗資料館友の会の方が活動しやすい、駒西小学校・福岡小学校を中心に、教室を有効に活用していくことについては、教育長からも指示を受けている。学校で活動することにより、機織りという具体的な活動が児童や保護者等地域の方々に継承していくきっかけになる有効な手段であると認識している。
千葉委員	前向きに検討していただけるという認識でよろしいか。
高崎専任主査	活動場所を探していくということを大前提に、学校を中心に検討していく。
岩館委員	P2「社会教育主事講習への職員の派遣」について、具体的に何人の派遣を予定していて、何人の取得を見込んでいるのか。
事務局 (小林)	・令和5年度は、2名派遣し、国立教育政策研究所にて受講した。必要単位4単位のところ、1名が2単位、1名が3単位を分割で取得し、修了はしていないため、その2名が今年度の夏の講習で残りの単位を取得予定。追加で1名が4単位受講することが決定したため、合わせて3名が修了の見込みである。 ・予算には2名分計上しており、講習費用はかからないため、教材費や交通費を見込んでいる。倍率が高く、受講できない場合もあるが、受講希望者が多数の場合にも予算については対応できるよう調整していく方針である。
岩館委員	・施設にとらわれずに社会教育事業を展開していくということにおいて、公民館機能を担っている社会教育主事の継続性、専門性が非常に大切であるということが昨年度の答申にもあったと思う。社会教育は多様な人が担っていくが、コアの部分を担っていくのは社会教育主事である。公民館という施設がない中で公民館事業を継続していくというのは、とても力量が求められることだと思っている。いかにそういう人たちをシステムティックに養成していくのか、どのように配置していくのかがとても重要である。
大久保委員	・公民館がなくなり、文化施設に併合されていく中で、文化施設の条例に「社会教育事業」という言葉は出てこない。社会教育と生涯学習の違いというのをどのように考えているのか。 ・生涯学習は個人の学びでやりたいことをやればいいが、社会教育はそうではない

内田館長	と考えている。地域の課題がどう集約されているのか示されていない。文化施設にするということは、そういう点を改善していくことなのではないか。このままでは社会教育が埋没してしまうのではないか。 ・文化施設の条例には、「生涯学習の事業の実施」が文化施設の業務であり、その施設を運営する指定管理者の仕事であるということも明記されている。 ・一方、「文化施設管理運営計画」の中で、生涯学習は広義的に社会教育事業も含まれているという考えが示されていると同時に、誰が主体的に実施していくのかというのは、教育委員会ということが明記されている。 ・また一方で、コミュニティの事業というのは、首長部局の担当部署と連携をとって進めていくということも明記されている。 ・地域の事業を見ていると、公民館や文化施設といった場所にとらわれず、様々な人が自由に、ゆるやかに参加できる事業展開が社会教育に求められているように感じる。 ・今後の社会教育事業については、教育委員会がこれからも地域の課題解決に資する事業を間違いなく実施していく。それと同時に、文化施設で指定管理者とどのように連携していけるかが重要な点である。
大久保委員	・社会教育というのは、組織的な活動である。行政が地域の課題をどれだけ吸い上げて、市民とともに課題解決できるかというのが、社会教育の重要な役割である。貸館的になってしまったことで、公民館の存在が揺らいでしまった。本来の役割を考え、守っていかなければならない。 ・指定管理者が地域の課題をどれだけ理解しているのか、どれだけ吸い上げられるか、また、やはり条例上「社会教育」というのが見えないというのが課題である。
齊藤議長	この内容は、諮問の内容に直結するものであるため、次回諮問に関する説明を受け、改めて皆さんで議論をしたい。
前谷委員	・ステラ・ウェストに行くと、多くの子どもたちが学習している姿が見受けられた。学びのスペースは足りているのだろうかと感じ、そういった点も新しい施設には考えていきたい。 ・勉強をしたい子、宿題が追いつかない子などを、施設の管理者などフォローできる人がいたらどうであろうかと感じた。ふじみ野市を守り、世界に出ていける人材を地域で育てていく必要がある。 ・紙のアンケートだけではなく、デジタルも利用して、子どもたちの意見を聞いてみるのもいいのではないか。
木村課長	審議事項（４）「新資料館改修スケジュール及び設計概要について」 ・昨年度、第１回社会教育委員会において、大井郷土資料館及び上福岡歴史民俗資料館を統合し、旧大井図書館・郷土資料館の建物を改修し、令和７年度から改

井上館長	修工事に入る予定である旨を説明させていただいた。 ・現在設計業務を進めている段階であり、担当の井上資料館長から改修工事のスケジュール及び設計概要について説明させていただく。 当日配布資料に基づき説明 ・子どもたちが楽しみながら郷土の歴史・文化を学べる施設を目指し、今年2月に資料館運営協議会でいただいた「ゆとりある展示」や「活動スペースの確保」等の意見を反映して作成したレイアウト案を作成。 ・スケジュールについては現在基本設計を行っており、令和7年1月まで実施設計、令和7年3月まで展示設計、令和7年7月から令和8年8月まで大規模改修工事を行い、令和8年9月に開館予定。 ・レイアウト案については以下のとおり。 【外構】 ・幅の広い出入口を2ヶ所設け、大型観光バスの出入りや安全性を考慮した設計にしたことで、小学生等の見学の機会も増加することを期待。 ・来客用の駐車場は56台程度確保する予定。 ・正面入り口の緑地では、屋外活動を行うことを想定。 【屋内】 ・1階入口右側には、市民がミーティング等自由に利用できる市民交流スペース・体験学習スペースを設ける。 ・入口左側には、市民ギャラリーを設け、資料館が企画展を行っていない時期については、イベントや体験学習を行うことを想定している。 ・展示スペースについては、上福岡歴史民俗資料館と旧大井郷土資料館の展示スペースを合わせた面積の2倍を超える面積を予定しており、より充実した展示を行うことができると見込んでいる。 ・2階については、研修室及び会議室を設け、市民の皆さまの自主的な活動の場として利用していただく想定。 ・収蔵庫については、上福岡歴史民俗資料館と旧大井郷土資料館を合計した容量とほぼ同等の容量を見込んでいる。 ・ふじみ野市立資料館条例の改正については、令和7年3月議会への上程を予定。
齊藤議長	質疑応答 →質疑なし
事務局 (近藤)	議事3 その他(1)「令和6年度社会教育委員の年間活動計画について」 資料5に基づき説明
齊藤議長	質疑応答
岩館委員	・9月の会議の新資料館に係る点で、どういう展示にするかというのも大切だが、

	どういう方針で資料を収集し・保存し、活用していくのかという全体の構想の中に展示があるのだと思う。 ・地域資料をどう残し、保存していくかというのは、スペースや費用の問題も含めて全国的にも課題である。 ・せっかく新しいものを作っていくのであれば、展示の基本設計だけではなく、収集やアーカイブの方針も合わせて示していただき、その上でどんな展示にしていきたいのか検討していきたい。 ・せっかく大学から歩いていくことができる距離に新資料館ができるので、大学としても力になれることかあればと思っている。
小澤委員	・資料館で展示されているものは小学校の先生も授業に取り入れやすいのだが、授業で使う副読本と噛み合っていないことが多いという声を学校で耳にする。そういったところにも考えた展示になると良いと思う。 ・また、資料館の立地から、学校からバスで来館を想定している話もあったが、費用が問題になってくる。子どもたちが学習のために来館できるような仕組みもあると良い。
中窪副議長	新資料館が完成したら、学校の展示室がなくなるということはあるのか。
井上館長	学校の展示室は継続して整備させていただく。
中窪副議長	資料館と学校展示室の棲み分けはどのようになっていくのか。
井上館長	学校展示室はより身近に資料を感じていただけるような設計になっているので、資料館とは別のものと考えていただければと思う。
高崎専任主査	・学校展示室は、身近な場所で児童や地域の方々に、地域の資料を学んでいただくという趣旨で作っている。 ・現時点で展示室として使える教室が全校にあるわけではなく、設立している展示室は限られてはいる。 ・市全体の地域の資料については、系統的に資料館の方で展示していく。 ・学校展示室は、より身近に、気軽に、学校の先生が授業の合間などで使っていただけるようなものにしていく。 ・バスの借り上げ料についても、市の方で予算化を進め、学校からバスで来館してもらえるよう進めていきたいと考えている。
千葉委員	・各学校に作ろうとしている学校展示室の内容は、3年生の「昔の暮らし」のものしかない。 ・旧上福岡地区は新資料館に簡単には行けなくなる。だからこそ、各学校の中の展示室での体験が大切になってくると考えている。そしてこれからは地域の人も利

齊藤議長	用できるようにしてもらいたい。 ・子どもたちの学習にとってより良いものとなるよう、進めていただきたい。 ・最後に、次回の会議予定の中に、諮問検討とあるが、過去の例からいくと、専門委員会が設置されると思う。専門委員会である程度まとめた意見を全体の会議に戻し、全員の意見を乗せたものをまた専門委員会で議論するような流れで検討を進めていくのが良いと思うので、事務局にはスケジュールを検討していただきたい。
事務局 (小林)	議事3 その他(2)「次回の会議開催について」 ・第2回会議は、7月22日(月)午前10時からを予定。 内容としては、上福岡西公民館大規模改修工事の概要と諮問案件の検討を予定。 ・事務局としても専門委員会を設置する方向で考えているため、そのスケジュールで進めていきたい。
事務局 (小林)	その他の連絡事項 ・上福岡図書館について、現在大規模改修工事で休館をしており、当初10月の開館を予定していたが、電線等資材の納品が遅延した影響により数か月開館時期が遅れることとなった。今月号の市報にもその旨掲載させていただいている。時期が確定した時点で改めてお知らせさせていただく。 ・埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会(以下、「県社連」)からの退会について 5月14日の入間地区社会教育協議会総会において、令和6年度以降、入間地区は県社連には加入しないことについて議決をいただいた。この結果を受けて、県社連事務局に対し、加入しない旨の通知をさせていただき、5月31日の県社連総会において入間地区の退会について承認された。 ・県社連の退会について、入間地区社会教育協議会総会にて「情報が届かなくなってしまうのではないか」という懸念が上げられたが、事務局である富士見市より、全国大会など、情報を入手し逐次共有していく旨回答があった。
中窪副議長	閉会の挨拶